

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2014.08.11 ~ 08.13
山名	劔岳 源次郎尾根
参加者	森井+1名
HP記載の有無	無
8/11(月) 天候:霧・雨 強風	<p>予定通り朝一番の新幹線で、台風を追っかける様な形で中年、老人パーティは出発する。</p> <p>室堂のバスターミナルを出ると霧の中。雷鳥平を通り別山乗越へ達すると視界は5m程になり、雨も降りだす。この雨の中を別山平へ下り、強風の中なんとかテントを設営しテントに転がり込む。テントの中で相方のラテが点かない事が判明。俺のラテ1個だけかと気も暗くなる。携帯は3本柱なので安心して山天を確認すると、明日は何とかいけそうだ。ラテも1個しか無いので、食事後さっさと2030位には寝る。</p> <p>博多0605~1327立山1340~1450室堂1520~1800別山乗越~1840別山平</p>
8/12(火) 天候:曇・雨 時々強風	<p>0340位に起き、パン、魚肉ソーセージを口に詰め込んでテントの外に出ると八峰の後方に陽が当たり、天気は良さそうだ。テントを強風で飛ばされ無い様に張綱を石で補強する。</p> <p>持ち物はピッケル、アイゼン、ザイル、ヘルメット、登攀用具、ビバーク用品、水2ℓ等で結構重くなった。劔沢山荘で相方のラテの電池を購入し、雪溪へ下りる。早朝は雪溪もガチガチだし、傾斜もきついのでアイゼン無しでは怖い。3~40分程で源次郎尾根取付き着。</p> <p>ここでアイゼンを外し、登攀用具装着。先行は若人パーティ2、中年単独行、中年パーティ1の4パーティで、我々中年、老人パーティが殿となってしまった。</p> <p>10分程草付を登ると4~5m程の岩場に出る。左側の最初の3m程がかぶり気味で濡れているので糞詰まっている。中年男2人の1人が残置ザイルを掴んで上がるとうとするが、荷で後ろに振られて乗越せないでいる。見かねて下にいる若人がショルダーをしてあげたら何とか乗越して行った。</p> <p>この後は小窓尾根下部の様な木登りを続けると4m程の岩場に出る。ここでは中年男2人パーティの1人が登り、もう1人をザイルで確保して上げた。中央にハーケン2本あり、この下のシュリンケを掴んで乗越して行く。2か所とも残置が無ければ空荷でないと登れなかったかもしれない。</p> <p>ザイルの回収に手間取っている中年男2人を追い抜き、先へ行く。この後は木登り、リッジ登り、長次郎側への巻き等を繰り返してI峰下部へたどり着く。ここで雨が本降りとなってきたので雨具装着。雨の降る中、I峰へ登り、クライムダウンし、II峰へ上がり込む。この頃になると雨は止んでいた。</p> <p>II峰下降点に行くと先行の若人パーティが懸垂下降中で、若人パーティと中年単独行が順番待ちの状態だった。右に目をやると八峰が良く見える。VI峰Cフェース上部を2人が登っている。V峰からはVVIのCOLに懸垂下降している。長次郎の傾斜のきつい上部には3人がいるが、ほとんど動いていない。熊の岩にはテント6張。昨年に比べたら全然少ない。残雪が多く、地面が露出している所が少ない。ここで待っていると長次郎上部よりの風が強くなり、寒くなってくる。</p> <p>30分程すると先行3パーティの懸垂が終わり、いよいよ我々の番だ。懸垂の支点には大きな鉄杭にこれまた大きな鉄鎖が掛けられていて、これに無数の残置シュリンケが掛かっている。鉄鎖の上の方に50mザイルダブルを掛け、風が弱まるのを待って水平にザイルを投げる。何処にも掛からず下に落ちたようだ。基部を覗くが見えず、様子が判らなので念の為にバックアップを取って30mの懸垂。</p> <p>相方の懸垂が終わり、ザイルを回収し本峰への急な登りを行くが、老人の体にはこたえる。本峰に近くて連れてこちらを見ている人が見えてくる。本峰に上がって判った事だが、富山県警の警備隊員で定期パトロール中とのこと。</p> <p>頂上で三ノ窓へ行く中年単独行と別れ、我々は別山尾根を劔沢へ下りる。下肢が弱っているのと荷が重たいので踏ん張りが効かず、早く下りれない。だから荷を担いでいる時間が長く、下肢に負担が余計にかかるの悪循環で、やっとこさ下り立つ。前劔よりの下りで、もの凄い強風で体が飛ばされそうになる。</p> <p>強風でテントが飛ばされていないかと心配しながら別山平へ戻ると、無事テントは有りホトする。テントの中で山天予報を見ると明日は天気が良さそう。しかし相方は大日へは行かず、室堂へ下山すると言い出した。個人的には大日から称名滝へ下りたかったのだが、断念。</p> <p>別山平0430~0620源次郎尾根取付~1000 I 峰~1040 II 峰~1200 II 峰COL~1310本峰~1730別山平</p>
8/13(水) 天候:晴・曇	<p>後ろ髪を引かれる思いでテント撤収。今日は良い天気で、別山乗越からは薬師や白山が見える。雷鳥平より室堂への登りはきつい。喘ぎながら息を大きく吸った時地獄谷よりの火山ガスを吸い込んでしまい、むせる。</p> <p>室堂へ着くと大勢の観光客でごった返していた。立山駅近くのホテルの温泉に入り、一路福岡へ。</p> <p>別山平0630~0730別山乗越~1030室堂 ~2115博多</p>

